



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

## 第 1749 回例会

平成 25 年 6 月 10 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

## 1. 開会点鐘

## 2. ロータリーソング

「我等の生業」

## 3. 出席報告

会員総数 53 名 出席者数 32 名

出席率 60.38% 前回修正出席率 69.81%

## 4. 会長スピーチ

会長 花田 宗弘 君

今日は、先日来行われて  
来ました I D M の発表を  
して頂く日です。テーマの  
一つに挙げさせて頂きまし  
たロータリー財団の補助  
金を申請する件につき、  
補足説明をさせて頂きま  
す。



先日、行われました地区  
協議会の分科会にて地区  
財団大森委員長より詳細  
説明がありました。既に御存じの様に、次年度よりロー  
タリー財団のプログラムが大きく変わります。従来  
実施されてきた財団奨学生、G S E (研究グループ交  
換) のプログラムが無くなり、新しく地区補助金とグ  
ローバル補助金等に移行されます。地区補助金のクラ  
ブへの補助額は 3 年前当クラブが財団に寄付した一  
人当たりの平均額に 10 倍した額の 80%、計算すると  
約 10 万円となります。一方、グローバル補助金は 1  
件 300 万円以上の大きなプロジェクトで 1 クラブだけ  
では荷が大きすぎます。地区補助金は I D M で話し合  
って頂いたテーマの中から選ぶとして、グローバル補  
助金の方は次年度の理事会で承認を得た上で他のク  
ラブにも呼び掛け提案してみてもいいかと思っています。

## 5. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

那智勝浦 R C 6 月 27 日(木)→ 6 月 30 日(日)

18:00～ 新宮ユーアイホテル  
(家族親睦会)

## 6. 委員会報告

○広報雑誌委員会

委員長 宮田 敬之佑 君

「ロータリーの友」6 月号

未来のロータリーのために、2013 年規程審議会リ  
ポートなどは是非、読んでください。ロータリーの友の  
感想文の未提出の方は提出してください。

## 7. I D M 報告

○I D M について

副会長 阪口 洋一 君

皆さん今日は。ロータリー報規定委  
員会にお世話していただいて開催さ  
れている I D M について少しお話さ  
せていただきたいと思います。従来 I  
D M で皆様からの貴重なご意見は、例  
会において発表されますがその後は、  
そのままになっているのが現状です。前回の理事会に  
おいて I D M でのご意見をクラブ運営に反映  
しようということにいたしました。理事会において明  
確に結論を出せる議題と出しづらいものがありますが、  
前回 2 月に行われました I D M において皆さまか  
らいただいたご意見を次のように纏めさせていただきました。



## ①楽しい例会作りについて

この議題は結論を出すと言うより、ご意見を吟味し  
今後の例会運営に反映させていただくと言うことにな  
ります。

## ②例会出席の服装について

会員ご自身がロータリアンとしての自覚をお持ち  
になり、それにふさわしい服装をしていただくと言う  
こととなります。

## ③新入会員の例会時の席について

基本的には会員がどの席に座るのも自由ですが、新  
入会員の方がどの席に座っていいものかと、迷われる  
ことがあると思います。そのため、ゲスト席に近い席  
に名札を置いて着席していただくことが良いと考え  
ました。先輩会員が新入会員にいろいろお話をし、孤  
立させないで例会を楽しんでいただくよう努力する  
ことが大事だと考えます。

## ④会員増強・退会防止について

この議題は I D M において何度も議論されているも  
ののです。この議題につきましても、皆様のいろいろな  
ご意見を会員増強・退会防止に反映させていただくこ

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか  
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花田 宗弘 幹事：中西 秀文 S A A：那須 正志

<http://www.kainaneast-rc.jp>E-mail : [info@kainaneast-rc.jp](mailto:info@kainaneast-rc.jp)

とということとなります。

#### ⑤その他

新入会員の方に名前を覚えてもらうために名札の利用を再認識してはどうか。胸に付けるなり、テーブルに置くなりしたら。というご意見をいただきました。これは是非実行していただきたいと思います。今年度もあと少しとなりましたのでたいしたことは出来ませんが、出来るならば次年度も引き続きお願いしたいと思います。

#### ①1組

発表者 木地 義和 君

5月17日に割烹「美登利」で開きました。リーダーは上中嗣郎君で、出席者は9名でした。



①奉仕活動プロジェクトについては、身体障害者支援等を申請する、詳しい内容については花田さんに一任。②ロータリークラブ（海南東）への要望は、女性会員を増やせ。クラブ等のイベントへの参加者が少ない多数の参加を望む③ロータリーに入会して良かったことは、友人が増えた。奉仕の精神がついた。ロータリーに入会してからは、夫婦円満になった。商売が繁盛した。

#### ②2組

発表者 山東 剛一 君

5月23日に「うたげ」で開きました。出席者は7名です。



①のテーマは、いろいろ話し合いましたが、結局今継続中のフィリピンの事業とタンポボの会の事業の内容を一層充実させて継続していくことが重要なことであり、その方向に沿っていく理事会の決定事項に協力していこう。このテーマを通してこのテーマで考えさせていただいたことに感謝したい。②③④は、ロータリーに入会して友人が増えたこと。奉仕の精神が増したこと。視野が広がったこと等が各自から出ました。こんな話題で、楽しいIDMをもつことができました。

#### ③3組

発表者 三木 正博 君

5月31日に「美登利」で開きました。出席者は10名でした。



1. 要望として、女性会員を増強してみては？ 2. 家族旅行について出来る範囲で奥様方の意見ももっと取り入れて決めては？ 奥様方の当会に参加願って女性の意見も伺って参考にして見ては。 3. 地区の活動にもっと参加して和歌山のクラブ同志のお付合を活発にしてみても。 4. 地区活動に就いていろいろな活動する為にもっと補助金を出してもらう様に申請してみてもどうか？ 5. Eクラブについて、2640地区の現状はどうか。もっとくわしく説明をしてもらう。 6. クラブ例会について一旦那樣欠席のときは代りに奥様に参加して女性の意見ももっと取り入れたらどうか。 7. 奉仕活動のプロジェクトにいろんな処のいろいろの人の（当クラブ以外の）一般の方々の参加願って当クラブの活動 etc 知ってもらって協力を賜っては如何なものか。 8. 旧WCSの継続—台湾友好ク

ラブ、フィリピンの奉仕活動 etc について。 9. ローターアクト休眠状態—次年度に復活しては。 10. 夫婦のIDMもっと開いて見たらどうか？ 最近やっていない様だが？

#### ④4組

発表者 那須 正志 君

5月27日に「うたげ」で開きました。

出席者8名でした。



①奉仕活動については、クラブに対してどれだけの奉仕が出来るか。もっとニコニコ金を集めよう。財団の話に付いてはいろいろな話を聞く中でうちの組では出来るだけその話はしたくないと言う事でした。奉仕活動プロジェクトに付いては、昔は毎年同じ事の繰り返しは禁止。常に新しいことに取り組む、しかし今は前年の文章を見てそれに従っている様な気がする。国際奉仕に付いては毎年同じ様について行くべきだと思います。

②③RC海南東への要望は、RCに入会して良かった事をまとめて同時に話し合いました。入会して良かった事では、月並みですが、友達に恵まれた。視野が広がった。入っているだけで得する部分がある。もっとクラブを利用するようにしよう。もっと良い事がある。昔は凄く厳しかった（色んな面で）。それから会議中の私語が、ずいぶん少なくなった。これからもゲスト招待の時には十分に注意しよう。ノーネクタイになってから少しだらけて来た様な気がする。最後にしっかりメイクUPして他クラブの良い所、悪い所しっかり見させてもらおう。これがうちの組のミーティングIDMでした。大先輩方の話を色々聞かせて頂き非常に中身のあるIDMでありました。

#### ⑤5組

発表者 岩井 克次 君

5月21日に「田中屋」で開きました。

出席者は9名でした。①「地区補助金の申請」地区の審査が通るかどうか分かりませんが、申請はしてみたいと思います。我々が毎年ロータリー財団にUS\$100～200/人を寄付



しています。この基金が3年間ロータリー財団本部（USA）に据え置かれ、3年後にその50%が地区に返ってきます。そのまた50%、すなわち25%が自由に使えるお金です。我が地区は3年前に約US\$400,000の寄付金がありその25%US\$100,000（¥10,000,000）が奉仕活動に使える資金となります。各クラブは奉仕活動のテーマを決め地区に申請できます。プロジェクトの総額の20%は自己資金が必要ですので、総額を100万円と想定してテーマを考えたいと思います。プロジェクトの内容はロータリー財団の使命に合ったものでなければなりません。ロータリー財団の使命とはロータリーにふさわしいもので、下記の様なプロジェクトが考えられます。国内、海外共に可能です。  
\*人道的プロジェクト（人々の生活の向上に役立てるもの）

貧民層の生活改善

子育て支援

不登校、いじめ問題対策





の宣言は、日常生活における人々との調和や、国籍、政治、宗教、文化の隔たりを超えた友情を生み出すために、一人ひとりに行動を呼びかけるものです。フォーラムの結びに田中会長は、「今日、最後となるロータリー平和フォーラムを後にする皆さまには、『平和』をどう定義するにせよ、それがロータリーにとって究極の、そして実現可能な目標であることをご理解いただきたいと思います。平和は、政府間の協定や闘争だけで実現するものではなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げるものでもあります」と述べました。

李東建ロータリー財団管理委員長エレクトは、韓国と日本の友好関係においてロータリーが果たす役割について講演し、隣国同士が協力しあいながら平和を達成することの重要性を強調しました。また、日韓のロータリアンが毎年参加する「日韓親善会議」についても触れ、このような親睦により両国間の平和という夢が実現されると述べました。

同じく閉会式でスピーチしたゲイリー・ホァン会長ノミニーは、「己の欲せざる事人に施す事なかれ」という文化や宗教を超えた概念を紹介した上で、ロータリアンは、超我の奉仕と平和の礎を築くことでこれを実践していると述べました。また、「私たちは、地域社会で平和を築きながら、世界の平和を実現する。友情そして互いを受け容れる心を養うことで、世界平和を築いている」と語りました。

## 日本のロータリー

日本のロータリーは、1920年に結成された東京ロータリークラブに始まり、その後、大阪や京都、横浜などで次々とクラブが誕生しました。今日では、88,000人のロータリアン、2,285のクラブにまで発展しました。2011年3月、東日本大震災が発生し、甚大な被害がもたらされました。世界中のロータリアンから多くの援助が寄せられ、災害復興基金には780万米ドルの義援金が集まりました。

ロータリーは長年、平和に力を注いできました。会員は草の根レベルで、飢餓、貧困、非識字など、紛争や暴力の原因となる問題に取り組んできました。また、10年前、グローバルな舞台で活躍できる平和構築者の育成を目指し、「ロータリー平和センター・プログラム」を開始しました。

2002年に始まったこのプログラムでは、毎年110名のフェローが世界各地の大学に設置されているロータリー平和センターで、修士号または専門能力開発修了証の取得を目指し研究に励んでいます。平和センターの一つが設置されている国際基督教大学（東京）からは、これまで70名のフェローが卒業しており、現在は21名が在籍しています。また、日本出身のフェロー25名が、海外のロータリー平和センターに留学しました。

**6月はロータリー親睦活動月間です**

## 平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリーセンター

ロータリー平和フェローは、生涯、仕事や奉仕活動を通じて国内外での協力、平和、紛争解決を推進するリーダーです。フェローは、国際関係、行政学、持続可能な開発、平和研究、紛争解決をはじめとする分野の修士号を取得、あるいは平和と紛争解決の分野における専門能力開発プログラムの修了証を取得することができます。



いは平和と紛争解決の分野における専門能力開発プログラムの修了証を取得することができます。

### プログラムの参加者

毎年、最高110名が選出されるロータリー世界平和フェローの内訳は、修士号取得プログラム対象者60名までと専門能力開発修了証プログラム対象者50名までとなっています。フェローは、国際関係、行政学、持続可能な開発、平和研究、紛争解決をはじめ、これらに関連する分野の修士号を取得するか、平和と紛争解決の分野における専門能力開発プログラムの修了証を取得します。

卒業後の世界平和フェローは、生涯にわたり、仕事や奉仕活動を通じて国内および国際間の協力、平和、紛争解決の推進に貢献する指導者となることが期待されています。元フェローの進路は多岐にわたり、草の根で活動する地元の非政府組織、各国政府、軍隊、警察をはじめ、国連、世界銀行、国際移住機関、米州機構といった二カ国間組織や国際組織でも活躍しています。平和構築に専念する元フェローたちの世界的ネットワークは発展の一途をたどっており、本プログラムの卒業生はこのネットワークのサポートを享受しています。

### プログラムの推進

ロータリー地区は、広報活動を通じて平和フェローとなるにふさわしい候補者を募集するよう奨励されています。学業、ボランティア活動、職業を通じて平和と紛争解決に専心し、優れた指導力と優秀な学業成績を示している候補者を探し出すことが大切です。詳細は「ロータリー平和センター ロータリアンのためのプログラムの手引き」(PDF)をダウンロードしてください。オンラインショップ、shop.rotary.orgでは、パンフレットやDVDなどの推進用資料を入手することができます。センター関連資料は、同オンラインショップで「Rotary Peace Centers」と検索してください。一度に99部までご注文いただけます。ウェブサイトで、ロータリーの名称と徽章を使用する際の指針に従ったロータリー平和センターのロゴの正しい使い方を調べたり、ロゴをダウンロードすることもできます。また、月刊ニュースレター「Peacenet」を定期受信すると、平和センターの最新ニュースが自動的に届けられます。